

小・三歯発第17-7号

平成17年7月1日



小郡三井医師会

会長 丸山 泉 殿

小郡三井歯科医師会

会長 井上 恭輔

学術担当理事 小林 敏



平成17年度小郡三井歯科医師会学術講演会のご案内

謹啓 盛夏の候、貴会ますます御清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、この度下記により学術講演会を開催致しますので、御多忙の折と存知ますが
御聴講賜りますよう御案内申し上げます。

敬具

記

演 題 「 舌でわかる全身情報～歯科臨床への応用～」

講 師 国立病院機構福岡病院
歯科医長 柿木 保明先生

日 時 平成17年8月6日 (土)
午後4時 ～ 午後6時30分

場 所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」
視聴覚室
小郡市二森 1167-1
TEL 0942 (72) 6666

小郡三井医師会より
是非ご出席いただきますようご案内申し上げます。

担当理事 永田正和



平成 17 年 度

小郡三井歯科医師会学術講演会

日 時 平成 17 年 8 月 6 日 (土)

午後 4 : 0 0 ~ 6 : 3 0

場 所 小郡市総合保健福祉センター「あすてらす」

小郡市二森1167番地 1 Tel. 0942-72-6666

プログラム

開 会 の 辞

会 長 挨 拶

講 師 紹 介

講 演

『舌でわかる全身情報～歯科臨床への応用～』

講 師 国立病院機構福岡病院 歯科医長 柿木保明先生

謝 辞

閉 会 の 辞

主 催 / 社団法人小郡三井歯科医師会

演題

『舌でわかる全身情報～歯科臨床への応用～』

講 師 国立病院機構福岡病院 歯科医長 柿木保明

21 世紀を迎え、高齢社会に対応した歯科界の変化が必要な時代になった。高齢者の増加に伴って、障害や病気を抱えた患者が歯科医院を受診する機会も増加してくる。また、健常者であっても、いろいろな生活習慣病や変化がみられる場合がある。歯科臨床で、このような変化をとらえることが重要だと唱えられて久しいが、具体的で積極的なアプローチ方法については、あまり議論されてこなかった。

古来、臨床医は、舌や顔色、脈などを診て、病気を判断してきたが、近年では、検査技術の進歩により、患者自身を観察する機会が失われてきている。また、歯科医学は西洋医学を基本とし、健康者を対象として発展してきたため、舌診などの東洋医学的手法を取り入れた教育はほとんどなく、臨床で応用されることは少なかった。

歯科臨床では、舌は治療の妨げであり、いかに排除するかには神経を集中してきた。しかし、よく観察するとさまざまな舌所見が発見できる。この所見は、西洋医学的には正常範囲に含まれるものがほとんどであるが、東洋医学的な観点から観察すると、不可解な口腔症状の原因が判明したり、難治性口腔疾患の治療に役立つ情報が得られる。また、う蝕や歯周治療、インプラントなどの臨床成績を上げたい時、舌診から得られる全身情報は大いに役立つであろう。

口腔所見から全身を知る技術の一つである「舌診」は、長年にわたる舌所見と全身状態との関係について調べた疫学研究成果といえることから、健康状態の傾向を知るには十分な情報を有している。舌は全身の鏡であるといわれるが、わずか 10 秒たらずの舌診から全身状態をとらえることができれば、新しい歯科医療の展開の一つとして、プライマリケアの一翼を担う時代が到来するかもしれない。

一方、舌が機能する上で、不可欠な唾液は、摂食嚥下機能や言語機能などにも大きく関連しており、齲蝕や歯周炎の発生とも密接に関連している。しかしながら、従来の唾液検査法は、刺激唾液量の測定で診断していたため、安静時の乾燥状態を反映していなかった。そのため、口腔乾燥感を自覚する患者であっても、正常範囲と判断されることが多く、向精神薬を投与されるきっかけにもなっていた。向精神薬は唾液分泌抑制があることから、症状をさらに複雑にすることになる。

そこで、厚生労働省長寿科学研究事業では、「高齢者の口腔乾燥症と唾液物性に関する研究（主任研究者：柿木保明）」を平成 13 年度から開始し、約 55% の高齢者が口腔乾燥感を自覚していることが明らかにし、研究成果として、臨床診断基準、唾液湿潤度測定紙、口腔水分計、曳糸性測定器などの応用で、臨床の場で簡便に利用できる診断方法が開発された。

今回は、舌からわかる全身情報を、どのように歯科臨床の場で応用するかについてお話したい。

柿木保明 （かきのきやすあき）

歯学博士

介護支援専門員、労働衛生コンサルタント、第 2 種作業環境測定士

略歴：1980 年 福岡県立九州歯科大学卒業

1980 年 産業医科大学歯科口腔外科医員

1981 年 国立療養所南福岡病院歯科医師

1988 年 同 歯科医長）

2004 年 独立行政法人国立病院機構福岡病院 歯科医長（病院名変更）

主な役職等

- ・日本障害者歯科学会指導医・理事
- ・日本口腔ケア学会・常務理事、学会雑誌編集委員長
- ・九州大学歯学部・非常勤講師
- ・九州歯科大学・非常勤講師
- ・福岡医療短期大学・非常勤講師
- ・福岡医科歯科技術専門学校・非常勤講師
- ・厚生労働省長寿科学総合研究事業・主任研究者
- ・福岡県食機能推進連携専門部会・委員
- ・福岡口腔ケア研究会・会長
- ・厚生労働省認定・臨床修練指導歯科医

主な著書

- ・看護で役立つ 口腔乾燥と口腔ケア～機能低下の予防を目指して～（編著）医歯薬、2005 年 5 月
- ・歯科漢方ハンドブック（著者）、K I S Oサイエンス、2005 年 2 月

- ・ 唾液と口腔乾燥症(編著)、デンタルハイジーン別冊 2003、医歯薬、2003、5月
- ・ これからの口腔ケア(共著)、JJN スペシャル、医学書院、2003年、8月
- ・ 歯科医師・歯科衛生士のための舌診入門(編著)、日本歯科評論社、2001年4月
- ・ 臨床オーラルケア(編著)、日総研 2000年8月31日刊行
- ・ 伝承から科学へⅡ口腔保険と全身的な健康状態の関係について(分担)、

口腔保健協会

- ・ 障害者歯科ガイドブック(分担執筆)、医歯薬
- ・ 歯科保健指導ハンドブック(分担執筆)、医歯薬
- ・ 全身疾患を有する患者の対処法(共著)、医歯薬
- ・ 介護保険と口腔ケア(執筆協力)、医歯薬
- ・ 介護保険認定審査会ハンドブック(分担執筆)、医歯薬

主な雑誌

- ・ 口腔乾燥症の臨床—診断治療ガイドライン、歯界展望 2004年、1月号-3月号
- ・ 口腔乾燥症のWhy & Now、看護学雑誌 67、2003年12月号
- ・ 唾液分泌低下と口腔乾燥症、デンタルハイジーン、2002年7月号
- ・ 口腔乾燥症の診断・治療・ケア、歯界展望、2002年8月号
- ・ 高齢者だから気を付けたい毎日の口腔ケア、臨床老年看護(日総研)平成12年連載
- ・ 舌診で口とからだの関係を理解する、臨床老年看護(日総研)平成12年1~6号連載
- ・ 口腔内環境と全身との関係、日本歯科評論、平成12年1月-12月連載
- ・ 舌診の歯科臨床と口腔ケアへの応用、日本歯科評論 2000年10月号、他学会雑誌等